

# 平成 18 年東海・北陸地区国立高等専門学校技術職員研修受講報告書

実習工場班 中川 秀則

## 1. はじめに

この研修は 7/26～7/28 で行われ、対象職員の職務に必要な専門知識を習得するとともに相互啓発の機会として与えられ、資質向上を図ることを目的とした。

## 2. 主管校

福井工業高等専門学校

## 3. 内容

特別講義「ものづくりと失敗学」

講義「特許の書き方」

講義「ロボットと人間の共生」

講義「人生と仕事の問題を効果的に解決する方法」

講義「ネットセキュリティ」

講義「e-learning」

講義「分析技術」

校外研修「工場における安全衛生への取り組み」 (株)福井村田製作所

(株)松浦機械製作所

討議 自由討論テーマ 「これからの技術職員に期待されること、その実現への提案」

「技術職員が抱えている問題、その改善への提案」

## 4. 所感

講義は興味深いものばかりで、全体として質疑応答の場面でも必ず意見があり、参加者それぞれが自分の立場で積極的に受講していた。

工場見学および安全衛生の取り組みに関しては松浦機械製作所では ISO14001(環境マネジメント), OHSAS18001(労働安全衛生マネジメント)の両方の認証取得されている稀な企業で安全衛生に対する意識の高さを学ぶことができた。

自由討論では各高専から技術職員が抱える問題が多く聞かれ、活発な意見交換、討論を行った。どこの高専でも抱えている問題点は類似しており、今後はなお一層横のつながりをしっかりとし、高専間で技術職員が問題点を共有、解決していく必要があるという認識となった。具体的には教育問題(学生のやる気、積極性に関すること。ロボコンに対する技術職員の取り組み関わり方に関すること。)技術の継承問題(年齢層が高く近い将来訪れる退職の波に対する不安。健康問題で突然の休職に対する人員不足。)組織化による問題(実績や報告集、業務に関すること)などである。